



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <https://www.aida.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 鶴川 裕光 (TEL) 042 (772) 5231

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,665	4.5	△121	—	△117	—	△175	—
2022年3月期第1四半期	13,079	23.9	270	50.7	380	64.0	226	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △27百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 617百万円(34.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△2.94	—
2022年3月期第1四半期	3.79	3.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	113,792	76,533	67.2	1,280.43
2022年3月期	113,933	78,664	68.4	1,304.89

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 76,442百万円 2022年3月期 77,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	33.8	2,700	238.0	2,800	190.8	2,000	261.8	33.50
通期	72,000	15.3	5,500	119.5	5,700	134.3	4,000	346.2	67.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料7ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料7ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	69,448,421株	2022年3月期	69,448,421株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	9,747,868株	2022年3月期	9,748,838株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	59,699,645株	2022年3月期1Q	59,695,051株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍からの回復局面にあるものの、世界的な物価高騰、半導体・電子部品不足、中国経済の鈍化等により、全体として減速基調にあります。今後もこれらの問題の長期化や、ロシア・ウクライナ問題に起因するエネルギー不足、中国のゼロコロナ政策等、更なる下振れリスクが拭えない状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内外の堅調な需要を反映し、当第1四半期連結累計期間の受注は前年同期比49.7%増の46,709百万円（一般社団法人日本鍛圧機械工業会プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は、電気自動車関連の需要拡大に支えられ四半期ベースで過去最高の31,773百万円（前年同期比54.5%増）となり、受注残高も過去最高の73,251百万円（前年度末比32.8%増）となりました。

売上高については、中・大型プレス機械の工事進行基準売上の増加等により13,665百万円と前年同期比4.5%増となりましたが、電子部品不足、中国ロックダウン等の影響で売上がズレ込み、当初想定していた水準を下回っている状況です。

利益面では、上記要因による売上不足に加え、原材料費、外注費、物流費等の原価高騰、高付加価値プレス案件やサービスの売上ズレ込みによる粗利率低下、販管費の増加等により営業損失は121百万円（前年同期は営業利益270百万円）、経常損失は117百万円（前年同期は経常利益380百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は175百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益226百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

日 本： プレス機械売上が増加し、売上高は8,917百万円（前年同期比12.1%増）となりましたが、セグメント損益は原価高騰等に伴う粗利率の低下により97百万円の損失（前年同期は89百万円のセグメント利益）となりました。

中 国： ロックダウンの影響によりプレス機械、サービス売上ともに減少し売上高は1,772百万円（前年同期比7.5%減）となりました。セグメント利益も減収により28百万円（同85.0%減）となりました。

アジア： 外部顧客向けの大型プレス機械の売上増加により売上高は2,203百万円（前年同期比78.9%増）となり、セグメント利益は原価高騰等で粗利率は低下しましたが増収効果により95百万円（同45.1%増）となりました。

米 州： プレス機械売上が増加し、売上高は3,653百万円（前年同期比26.6%増）となりましたが、セグメント損益は原価高騰等に伴う粗利率の低下や販管費増加により98百万円の損失（前年同期はセグメント損失42百万円）となりました。

欧 州： サービス売上は増加しましたが、プレス機械売上が減少し、売上高は2,032百万円（前年同期比32.9%減）となり、セグメント損益は減収により1百万円の損失（前年同期は45百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産については、前年度末に比べて141百万円減少し、113,792百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少4,680百万円、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権といった売上債権の増加2,059百万円、棚卸資産の増加3,269百万円、投資有価証券の減少1,318百万円等であります。

負債は、前年度末に比べて1,989百万円増加し、37,259百万円となりました。主な要因は、買掛金及び電子記録債務といった仕入債務の減少829百万円、未払金の減少978百万円、契約負債の増加4,015百万円等であります。

純資産は、前年度末に比べて2,130百万円減少し、76,533百万円となりました。主な要因は、利益配当等による利益剰余金の減少1,778百万円、その他有価証券評価差額金の減少925百万円、為替換算調整勘定の増加1,491百万円等であります。当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は67.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,031	30,351
受取手形、売掛金及び契約資産	17,690	19,652
電子記録債権	1,087	1,184
製品	4,135	5,081
仕掛品	13,019	15,100
原材料及び貯蔵品	4,420	4,663
その他	3,358	3,454
貸倒引当金	△1,040	△1,039
流動資産合計	77,703	78,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,709	26,176
減価償却累計額	△18,481	△18,857
建物及び構築物（純額）	7,227	7,319
機械装置及び運搬具	18,849	19,991
減価償却累計額	△13,822	△14,598
機械装置及び運搬具（純額）	5,027	5,392
土地	7,263	7,293
建設仮勘定	1,437	1,135
その他	3,925	4,093
減価償却累計額	△3,418	△3,567
その他（純額）	506	526
有形固定資産合計	21,462	21,667
無形固定資産	1,179	1,267
投資その他の資産		
投資有価証券	10,469	9,151
保険積立金	1,891	2,009
退職給付に係る資産	820	829
繰延税金資産	285	294
その他	153	157
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	13,588	12,409
固定資産合計	36,230	35,343
資産合計	113,933	113,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,137	5,936
電子記録債務	2,888	2,259
短期借入金	1,094	570
未払金	1,612	633
未払法人税等	175	124
契約負債	12,091	16,106
製品保証引当金	497	522
賞与引当金	1,020	591
役員賞与引当金	22	8
受注損失引当金	211	169
その他	2,398	3,329
流動負債合計	28,150	30,253
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
長期末払金	924	1,027
繰延税金負債	2,336	1,933
株式給付引当金	510	560
退職給付に係る負債	1,456	1,453
資産除去債務	9	9
その他	380	521
固定負債合計	7,119	7,005
負債合計	35,269	37,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,836	13,007
利益剰余金	55,511	53,732
自己株式	△5,250	△5,250
株主資本合計	70,927	69,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,815	3,890
繰延ヘッジ損益	△295	△697
為替換算調整勘定	2,365	3,857
退職給付に係る調整累計額	87	71
その他の包括利益累計額合計	6,973	7,121
新株予約権	91	91
非支配株主持分	671	—
純資産合計	78,664	76,533
負債純資産合計	113,933	113,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	13,079	13,665
売上原価	10,704	11,491
売上総利益	2,375	2,174
販売費及び一般管理費	2,104	2,295
営業利益又は営業損失(△)	270	△121
営業外収益		
受取利息	10	21
受取配当金	97	127
為替差益	1	—
その他	17	24
営業外収益合計	127	173
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	—	159
欧州事業再編費用	4	—
罰科金	5	—
その他	2	5
営業外費用合計	17	169
経常利益又は経常損失(△)	380	△117
特別利益		
固定資産売却益	2	0
操業停止又は縮小に関わる助成金収入	5	7
特別利益合計	7	8
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	5	4
操業停止又は縮小に伴う損失	15	6
特別損失合計	20	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	367	△120
法人税等	149	54
四半期純利益又は四半期純損失(△)	217	△175
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	226	△175

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	217	△175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329	△925
繰延ヘッジ損益	42	△401
為替換算調整勘定	43	1,491
退職給付に係る調整額	△15	△16
その他の包括利益合計	399	148
四半期包括利益	617	△27
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	625	△27
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間
(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高								
①プレス機械	2,625	1,406	269	2,238	2,605	9,144	—	9,144
②サービス	1,432	395	281	617	376	3,104	—	3,104
③その他	800	4	2	—	22	830	—	830
小計	4,859	1,806	553	2,856	3,004	13,079	—	13,079
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,099	109	677	29	22	3,938	△3,938	—
計	7,958	1,915	1,231	2,885	3,027	17,017	△3,938	13,079
セグメント利益又は 損失(△)	89	187	66	△42	45	345	△75	270

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高								
①プレス機械	3,198	1,539	944	2,952	1,364	9,998	—	9,998
②サービス	1,276	163	438	502	494	2,876	—	2,876
③その他	768	10	4	0	6	790	—	790
小計	5,243	1,712	1,387	3,456	1,865	13,665	—	13,665
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,674	59	815	197	167	4,914	△4,914	—
計	8,917	1,772	2,203	3,653	2,032	18,580	△4,914	13,665
セグメント利益又は 損失(△)	△97	28	95	△98	△1	△73	△48	△121

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注の状況

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期増減率（%）	金額（百万円）	前年度末増減率（%）
日本	8,163	0.7	21,733	15.5
中国	9,884	124.0	19,159	74.4
アジア	2,242	△3.3	5,085	20.2
米州	5,460	87.3	12,728	18.7
欧州	6,023	114.3	14,544	40.0
合計	31,773	54.5	73,251	32.8

（注）1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。